

2020年12月7日

各位

 株式会社クシム
 (東証第二部:2345)

システムエンジニアリングサービス(SES)稼働率のお知らせ (11月度)

株式会社クシム(本社:東京都港区、代表取締役社長:中川博貴、以下「クシム」)の連結子会社である株式会社クシムソフト(本社:東京都港区、代表取締役社長:中川博貴、以下「クシムソフト」)では、2005年4月の創業時より主力ビジネスとしてシステムエンジニアリングサービス(以下「SES」)を展開してまいりました。クシムでは、ステークホルダーの皆さまに対する情報公開の一環として、クシムソフトの主力ビジネスであるSES事業における「エンジニア稼働率」を公表いたします。

【エンジニア稼働率】 参考:前期平均稼働率(76.52%)

第17期

2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3
84.00%	96.00%				
2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9

※クシムソフトの事業年度は10月1日から9月30日までです。

2020年11月度のエンジニア稼働率は96.00%であり、SES事業の単月黒字となる損益稼働率を達成し、かつ、クシムソフト目標値を達成いたしました。今年はコロナ禍における各プロジェクト凍結や時期見送りが継続されるSES業界の中で、ここまで躍進出来たことは一つの成功事例として今後の展開への土台となると考えております。

クシムソフトは、これまで稼働率達成のため、クシムグループ全体のシナジー効果や創業時から続けてきたお客様との関係性の再構築を意識し、一つ一つのお客様からの声に対してスピーディかつ真摯に対応してまいりました。今回、目標稼働率を達成できたことは、今も目まぐるしく変化するSES含めた世の中のすべてのビジネスにおいて、柔軟に対応する企業体になれたと考えております。これからもSESビジネスが中心となりますが、いかなる変化にも柔軟に対応出来る企業へと進化してまいりたいと考えております。

クシムソフトは引き続き、SESビジネスを主軸として常に目標である稼働率(*96%)の達成を目指し、着実に新たな案件や顧客層の獲得及び社内受託開発の収益性を高めてまいります。

なお、12月度の見込みとしては、11月度と同様にベテランエンジニアと若手エンジニアのクライアントさま向けのチーム提案が順調に成約していることから目標稼働率を維持できる見通しです。

引き続き、当事業のエンジニア稼働率を安定運営することを意識し、かつ、ITエンジニアの高度化に向けたeラーニングコンテンツの活用も本格的に展開していく所存です。

2020年11月4日にクシムにてリリースされた「SLAP α (スラップ アルファ)」とのシナジー効果も問い合わせが増えており、今後もクシムソフトエンジニア育成の基盤となっていくよう、具体的な利活用を推進してまいります。

エンジニアの育成から案件獲得へのビジネスモデルの確立に向け、これからもグループシナジーを追求し、ITエンジニアの高度化とそれに伴うSES稼働率上昇を達成してまいります。

今後ともクシムならびにクシムソフトの取り組みにご期待ください。

▶ 稼働率について

クシムソフトでは、SES事業におけるエンジニア稼働率を以下のように定義しております。

実稼働SESエンジニア数 ÷ 稼働可能SESエンジニア数 × 100

※社内受託開発対応中のエンジニアは稼働可能エンジニア数には入れておりません。

※補足事項

「エンジニア稼働率」は、SE（システムエンジニア）の稼働状況を集計し公表しております。従い、システムエンジニアリングサービスの業績の達成率と同義ではございません。

【当件の問い合わせ先】

株式会社クシムソフト

ソリューション開発事業本部 担当：青木

03-6826-1235（東京本社）

